



2021年5月14日
会社名 株式会社 リケン
代表者名 代表取締役社長 前川 泰則
(コード番号 6462 東京証券取引所)
問合せ先 業務管理部経理室長 中島 正郎
電話番号 03(3230)3911

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期個別業績数値と前期実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	53,414	1,517	2,623	2,293	231.63
当期実績(B)	46,099	832	2,012	1,030	103.58
増減額(B-A)	△7,314	△684	△611	△1,263	
増減率(%)	△13.7	△45.1	△23.3	△55.1	

2. 公表の理由

売上高、営業利益、当期純利益において、前事業年度の実績値と比較して、当事業年度の決算数値が一定以上変動し、開示が要求される事実該当しますので、その内容を公表するものであります。

3. 差異の理由

2020年度は年初より新型コロナウイルス感染症拡大の影響により販売が著しく減少し、特に上期(第2四半期累計期間)の売上高は対前年同期比約28%減と大きく落ち込みました。合理化や費用削減に取り組みましたが、上期は営業利益が赤字となり、経常利益は前年同期比93%減、純利益は73%減と大きく落ち込みました。

下期(第3、第4四半期会計期間)は売上高が対前年同期比101%と前年同期を上回り、またコスト削減を強力に進めたことなどにより営業利益は対前年同期比95%増、経常利益は72%増となりました。純利益につきましては事業構造改革費用の発生による特別損失が発生したことなどにより対前年同期比29%減となりました。

以上のように下期は販売増加とコスト削減により大幅な回復を果たしましたが、上期の落ち込みをカバーしきれず、また特別損失の発生もあり年度合計では前年同期比で減収減益となりました。

以上